



「そこにあるのに見えないものなくんだ？」なぞなぞです。答えは「まつげ」
だそうです。

社会の発達で、私たちの周りにはものが溢れ、色々なことが便利になりました。
ネットを使えば家から一步も出ずに生活ができる、とか、ややもすれば「自分は
一人で生きられる」そんな声も聞かれる今の時代です。

しかしながら、私たちは決して一人だけで生きていくことはできません。たと
え家から出ることなく生活出来たとしても、そこには多くの繋がり（ご縁・ご
恩）をいただいています。衣食住や、ネット環境も貨幣経済も、私たちの命も、
一人で準備できたものは何一つ無いでしょう。また、目に見える繋がりだけでは
ありません。ゴミや埃や汗が目に入るのを防いでくれる「まつげ」の様に、目の
すぐ前にあるのに、普段は気付かず意識すらしない、そういう繋がりも沢山あり
ます。目に見える見えないに関わらず多くの繋がりの中に、私たちは命をいただ
いて生きているのです。

すべての繋がり（ご縁・ご恩）を意識し生活することは無理なことです。でも
気付いた時は「有難うございます」と手を合わせる、そんな日暮らしを送ってい
きたいものですね。